

令和5年度 事業報告書

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。そこで法律に基づき、行政が様々な要請・関与していく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取組みをベースとした対応に変わりました。大藤園、王司山田園ともに感染防止に向けて注意して支援を行いました。また、令和6年1月1日に能登半島地震がありました。

このような社会情勢の中、施設経营的には、決算で大藤園(通所)は、当期活動増減差額△3,952,434円となり、王司山田園(入所)は、当期活動増減差額9,103,538円となりました。

役員任期満了に伴う改選の年に当たり次期役員を選任をいたしました。理事定数を6名とし、理事長には、森 健二理事が就任いたしました。

市の承認を得た社会福祉充実計画(令和5年度～令和9年度)は、土地購入に向けて理事会、評議員会で協議いたしました。

大藤園、王司山田園の運営報告等は各園の報告のとおりです。

1. 役員

理事長	森 健二(令和5年6月24日就任)
理事	6名 (令和5年6月23日)
監事	2名 (令和5年6月23日)

2. 理事会

理事会の開催 (5回)

回数	開催日	出席者数	議案等
第1回	R5.6.1	理事6人 監事2人	(1)決議事項 第1号議案 令和4年度事業報告について 第2号議案 令和4年度決算並びに監査報告について 第3号議案 次期理事、監事候補者推薦の同意について 第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第5号議案 社会福祉充実計画について 第6号議案 定時評議員会の開催について (2)報告事項 ・理事長の職務執行状況の報告について
第2回	R5.6.24	理事6人 監事2人	(1)決議事項 第1号議案 理事長の互選について
第3回	R5.12.7	理事6人 監事2人	(1)決議事項 第1号議案 職員給与規程の一部改正について 第2号議案 経理規程の一部改正について 第3号議案 福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について 第4号議案 規定等の字句等の訂正について (2)報告事項 ・社会福祉充実計画承認について（報告） ・令和5年度社会福祉法人指導監査の結果について ・理事長の職務執行状況の報告について
第4回	R6.1.25	理事5人 監事1人	(1)決議事項 第1号議案 社会福祉充実計画に伴う土地の購入について 第2号議案 評議員会の開催について

第5回	R6.3.14	理事5人 監事2人	(1) 決議事項 第1号議案 令和5年度補正予算(案)について 第2号議案 令和6年度事業計画・予算(案)について 第3号議案 王司山田園指定障害者支援施設運営規程の一部改正について 第4号議案 王司山田園短期入所事業運営規程の一部改正について 第5号議案 土地の購入について 第6号議案 評議員会の開催について
-----	---------	--------------	--

3. 評議員会

評議員 8名 (令和5年6月23日定数変更)

評議員会の開催(3回)

回数	開催日	出席者数	議案等
第1回 (定時)	R5.6.23	評議員9人 監事2人	(1) 決議事項 第1号議案 令和4年度事業報告について 第2号議案 令和4年度決算並びに監査報告について 第3号議案 次期理事、監事の選任について 第4号議案 社会福祉充実計画について
第2回	R6.2.16	評議員8人 監事1人	(1) 決議事項 第1号議案 社会福祉充実計画に伴う土地の購入について
第3回	R6.3.22	評議員8人 監事2人	(1) 決議事項 第1号議案 令和5年度補正予算(案)について 第2号議案 令和6年度事業計画・予算(案)について 第3号議案 社会福祉充実計画の承認について (2) 報告事項 ・職員給与規程の一部改正について ・土地の購入について

4. 監査会の開催

実施日	監事名	監査報告
R5. 5. 25	金田 興基 近藤 洋平	社会福祉法人開成会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行の状況及び社会福祉法人開成会の財産の状況について、関係者立会いのもとで監査を実施した。別紙監事監査報告書のとおり、社会福祉法人開成会の理事の職務執行の状況及び事業報告書、決算報告書、附属明細書並びに財産目録は、適正であった。

5. 評議員選任・解任委員会（委員3名）
開催なし。

6. 苦情解決第三者委員会
苦情解決第三者委員（委員2名）
令和5年度、苦情申出人からの申出は無かった。

7. 社会福祉充実計画
社会福祉充実計画(令和5年度～令和9年度)は、評議員会(R5年6月23日開催)の承認を得て市へ承認申請した。市から承認通知(R5年7月26日付)があった。

8. 職員数等

(令和6年3月31日現在)

区分	園長	サービス 管理責任者	生活支援員 (事務職含む)	看護師	栄養士	調理員	運転手	合計
大藤園	1	1	<10+ (3)>	(1)	1	(3)	(5)	25 13+(12)
王司 山田園	1	1	<20+ (2)>	1	1	3+(2)	0	31 27+(4)
合計	2	2	<30+ (5)>	1+(1)	2	3+(5)	(5)	56 40+(16)

() はパートタイム職員

区分	正職員		
	平均年齢	平均勤務年数	平均給料月額(本給)
大藤園	41.7歳	12年9ヵ月	237,367円
王司山田園	43.0歳	10年3ヵ月	220,764円

(調理員含む。再雇用職員、園長を除く。)

9. 法人全体決算について

令和5年度決算を事業活動の成果を明らかにする事業活動計算書で見ると、法人全体のサービス活動収益の計は、347,498,599円、サービス活動費用の計は、348,888,611円、サービス活動増減差額は、

△1,390,012円で、サービス活動外増減の部のサービス活動外増減差額は、6,013,210円、経常増減差額は、4,623,198円となっている。特別増減の部においては、特別増減差額は226,698円となり、その結果当期活動増減差額は、4,849,896円となった。

令和 5 年度 大藤園事業報告

□事業所運営

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が緩和され、徐々に中止又はできるだけ縮小していた行事等を行い、大藤園まつり、研修旅行(1泊2日)も行いました。

利用者の様子もコロナ禍前ののびのびとした明るい雰囲気になりつつあります。

職員の利用者への対応、支援内容、管理運営等、法令を遵守して運営することができました。

なお、関係行政機関、福祉関係団体、保護者等の良好な関係を維持継続しました。

園の営業日は、年間 270 日（台風のため休園 8/10 を 10/14（土）に振替）

(1) 利用者の状況報告

令和 5 年度当初、58 名（週 1 日利用者含む）でスタートした。利用者 2 名の退園と利用者 1 名が新たに通園したので 57 名。

区分	性別	年齢	支援区分	年月日	概要
退園者	男性	21	4	R5.4.30	他通所施設へ
〃	男性	22	3	R5.5.31	他入所施設へ
通園者	男性	18	4	R6.3.18	支援学校から

平均年齢は 37.1 ヲ月 平均通所年数 17.8 ヲ月

※受給者証に「生活介護加算重度障害者支援」と記載されている者は 14 名。

利用率は 86.2% 一日平均利用者数 48.3 人

支援区分は、以下のとおりで平均支援区分は 4.3

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

	男 (人)	女 (人)	合計 (人)
支援区分 3	7	7	14
支援区分 4	13	8	21
支援区分 5	12	4	16
支援区分 6	6	0	6
合計	38	19	57

(2) 支援計画

個別支援計画については、サービス管理責任者が利用者の強み、特性等に注目して原案を作成し、相談支援事業所と連携して、また利用者本人、保護者から意向を聞いた上、職員等で十分協議検討して計画を作成して実施した。

(3) 支援内容

支援内容は、班を原則男性、女性班に分け、その中で7名程度の小人数グループを作り活動、支援する。支援については職員担当制ではなく、支援員が利用者の特性に対して同じ支援が行える体制をとることを基本として、生産活動と生活支援活動<運動(障害者スポーツセンター等)、買い物(ゆめタウン)、クラブ活動(音楽、ダンス、創作等)、を実施した。さらに内容を工夫して余暇活動、リラックスタイム、上映会等を園内で行った。また、書道教室(月2回)、生け花教室(月1回)を行なった。

主な行事として、3年ぶりに「大藤園まつり」「研修旅行」を実施、ボウリング大会(ロイヤルボウル)も行なった。

令和5年度 行事一覧表

月	行 事 名	場 所
R5. 7.28	スポーツデイ	大藤園
〃. 9.17	大藤園まつり	〃
〃.10. 5~6	研修旅行(1泊2日)	岩国・広島
〃.12.8	ボウリング大会	下関ロイヤルボウル
R6. 1.27	新年会・成人を祝う会	長府公民館
〃. 3.2/ 3.28	豆まき、自治会行事	大藤園

(4) 職員の動静

職員の動静については、令和5年度に生活支援員3名(R6.3.31正職員2名 R6.1.20再雇用職員1名)が退職した。(R6.4.1生活支援員1名パート雇用予定)

また、看護師1名(パート.R5.12.10退職)の補充(パート.R6.1.22雇用)をした。

(5) 研修

令和5年度は、職員1名（男性）が社会福祉士に合格した。
職員の資質向上のため必要な研修会等へ参加した。オンライン
研修もあった。

<社会福祉士3名、介護福祉士4名（重複1名）、保育士1名（重複1名）>

職員研修等一覧表

月日	研修名等	主催	場所	人数 (人)
8/9	社会福祉法人主任、係長講座	県経営協	Zoom	1
8/24～25 1/24～25	強度行動障害支援者養成研修（基礎） "（実践）	市社協	下関市	2
8/25～27	社会福祉士養成所スクーリング	日本知的障害者福祉協会	福岡市	1
9/7・ 10/19 11/15～16	サービス管理責任者研修（基礎・ 実践）（ファシリテーターとして）	Y I C 学院	山口市	1
9/12	自閉症児・者の学習特性を生かした効果的なスキル指導法	県障害者サービス協議会	Zoom	2
9/27	福祉サービス第三者評価事業 訪問調査（評価委員として）	県社協	防府市	1
10/3	メンタルヘルス講習会	県健康福祉財団	山口市	1
10/13～16	社会福祉法人会計実務講座	中央福祉学院	神奈川県	1
11/9	第33回山口県知的障がい施設福祉 振興大会（協力、参加）	県知的障害者福祉協会	下関市	7
11/21	経理事務研究会	県知的障害者福祉協会	山口市	1
12/12	県障害者虐待防止・権利擁護研修	県社会福祉士会	Zoom	1
1/25	障害者虐待防止徹底研修	県知的障害者福祉協会	山口市	1
1/26	令和5年度西・北部地区部会 （施設長）	県知的障害者福祉協会	長門市	1
2/7～9	自閉症スペクトラム症支援者専門研修会	国立障害者リハビリテーションセンター	Zoom	1

「市自立支援協議会」に参画し会議、研修会に参加した。

月日	研修名	主催	場所	人数
4/8～ 延 11 回開催	下関市自立支援協議会 「くらしの部会」	基幹相談支 援センター	下関市 福祉センター	1
7/6	下関市自立支援協議会 専門部会全体交流会	基幹相談支 援センター	”	1
12/12	下関市自立支援協議会専門部会 全体研修会 虐待防止研修	基幹相談支 援センター	”	1

(6) 施設整備等

職員が、毎月事業所内安全点検を継続して実施し、事故やけがの防止及び不良個所の調査をして、安心安全、快適な環境になるよう施設点検を行った。

(7) 地域における公益的な取り組み

「長府東部地区まちづくり協議会」運営委員会に職員が部長として参画し、行事等を実施して協力した。

1. 長府東地区まちづくり協議会への参画

(まちづくり協議会、自主防災組織への参画)

月日	研修名	主催	場所	人数(人)
5/24～ 延 10 回開催	長府東部地区まちづくり協議会	長府東部地区 まち協	長府東公 民館	1
6/11～	防災会議	”	”	1

2. 長府地区行事等への車輛の貸出及び職員の参加、協力

(長府城下町マラソン大会等)

3. 下関長府ライオンズクラブから、花の苗の寄贈があった。園内花壇等に植え町内美化活動に協力した。

(8) 実習生の受入れ

下関総合支援学校、下関南総合支援学校、中高等部6人の実習を受け入れた。

実習期間	性別	区 分	学 年	人数
R5. 6. 5 ~ 6.16	女	下関総合支援学校	高等部2年生	1人
〃. 6. 19 ~ 6.30	男	下関南総合支援学校	高等部3年生	1人
〃. 11. 20 ~ 11.22	女	下関総合支援学校	中学部3年生	1人
〃. 11. 27 ~ 12. 8	男	下関南総合支援学校	高等部3年生	1人
R6. 1. 22 ~ 2. 2	女	〃	高等部1年生	1人
	男	〃	〃	1人

(9) 広報活動

本年度は、広報誌「大藤園タイムズ」を令和6年1月に発行した。

(10) 防火・防災活動

毎月、消火・避難訓練（地震・風水害を含む）を実施し、非常時の対応の訓練を行った。

(11) 給食

利用者全員を対象として、日本人の食事摂取基準に基づいて、個人に合う給食の提供に努め健康の増進を図った。家庭からの要望、支援員が食事の介助にあたり、必要だと考えられる者に対して、量・食事の形態等、利用者個々に合った給食を提供している。毎月1～2回選択メニューを実施し、給食だよりを配布した。

(12) 虐待防止委員会の開催

(委員6人：理事長、園長、保護者会長、サービス管理責任者、支援員、利用者)

虐待防止委員会を下記のとおり開催し虐待防止に努めた。

・「ヒヤリハットの報告」

職員は、利用者のヒヤリとした様子、事故に繋がるような事案、利用者への接遇等を報告し、職員間で問題等を共有して虐待防止に努めている。さらに委員会に報告、協議して必要な事案については、職員にフィードバックしている。

・「セルフチェックの報告」

職員は、毎日セルフチェックをして報告し、気付きや改善点等意見を出し合っている。取りまとめたものを委員会に報告している。

・「意見箱の投書報告」

利用者から2件：給食、DVD, 映画の好み。

委員会開催状況

No.	年月日	内容	月	件数
1	R5.5.13	ヒヤリハット、セルフ チェックの報告、検討	(3月) 4月	(7) 5
2	R5.7.8	〃	5月・6月	4
3	R5.9.9	〃	7月・8月	7
4	R5.11.11	〃 身体拘束適正化検討 委員会の開催	9月・10月 (事案無) 指針、要項の確認	5
5	R6.3.9	ヒヤリハット、セルフ チェックの報告、検討	(11月無) 12月～2月	2

「ヒヤリハットの報告」内容

	内 容	件数	事 例
1	怪我、傷等	1	・作業中、けいれんが起きる。(様子観察して保護者へ連絡、救急車で搬送。)
2	「他利用者」を叩く、つかむ、小突く、嘔む	4	・不快を示す行動として、苦手な利用者へ向かい叩く。 ・通りすがりに叩く、蹴る。 ・他利用者を嘔む、髪を引っ張る。
3	「支援員」を叩く、嘔む	3	・不快を示した時に行動として行う。
4	無断外出	1	・目を離した際、園から飛び出し店舗等の物を投げる。(職員注意する。)
5	器物損壊	6	・食事の際、ご飯、トレイ、茶碗を投げる。 ・壁をたたく、物をなげる ・他利用者のDVDプレイヤーを壊す。
6	送迎中	6	・登園中、バス内でかばん、くつを投げる。 ・支援員につかみかかる。他利用者を叩く。 ・送迎バスに乗らない、降りない。
7	お菓子を食べる	2	・事務所に入ってお菓子を食べる。 (職員注意する。)
8	自分を傷つける		
9	大声をだす		
10	その他		

(13) その他

感染予防のため、毎日ドアノブ等の消毒、トイレ清掃を行った。職員も勤務中や外出時のマスクの着用と、出勤前に検温等健康管理し感染予防に努めた。

(14) 生産活動

収入は 1,599,630 円と前年度に比べて△109,000 円の減であった。前年度同様、年間の行事等を配慮して生産活動を行っている。作業内容は受注調整を行い利用者がずっと同じ作業をするのではなく、利用者に合った作業を経験できるよう取り組んでいる。

令和 5 年 7 月から(株)ムラカワ(自転車部品組立等)が事業廃止したため、同じ作業内容で受注できる神生産業(株)と業務委託契約をした。

※利用者一人当たり平均工賃 月額約 1,954 円 (R4 2,111 円)

令和 5 年度 業者別収入実績表

業者名	内容	金額 (円) ()前年度	業者名	内容	金額 (円) ()前年度
松田商店	ウエス作成	342,210 (267,900)	岡本紙工	本、チラシ 折り貼り等	0 (45,600)
長府工産(株)	部品組立等	353,181 (436,386)	(株)タカハシ 包装センター	瓶ラベル貼 り	7,322 (8,729)
(株)ムラカワ	自転車部品 組立等	114,941 (569,923)	神生産業(株)	自転車部品 組立等	494,752 (0)
(株)ウエキ	箸袋詰め	78,060 (90,750)	長府機工(株)	部品組立等	48,105 (126,576)
(株)キューセ ン	クリーニン グ用品	83,880 (93,800)	古紙売却等	段ボール 新聞等、	7,750 (12,330)
(株)三和印刷	印刷物 シール貼り等	29,144 (38,556)	野菜売却	きゅうり、 トマト等	2,070 (2,080)
(株)アート ネクスト	印刷物 シール貼り等	38,215 (16,000)			
合 計			1,599,630 (1,708,630)		

前年度対比 △109,000 円